7月5日 月曜日 4日発行 昭和30年西暦1955年

発行所 内外タイムス社 東京都中央区銀座3の5 電話 代表 京橋(56)8646 (直通 販売 〃 0437 営業 〃 3995) 編集局 港区芝田村町5の6 電話 代表 芝(43)1163 振替 貯金口座 東京170071

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

第3147号 (昭和24年6月27日第三種郵便物認可)

4版

◎天気予報 今晩 強い南の風はおさまって北風となり、曇りで一時俄雨、または雷雨。明日 北のち南の風曇がち、日中晴間あり、のち俄雨。

あすの暦 7月5日・火 旧5月16日 月齢15.0 日出 前4.30 日入 後7.00 月出 後6.59 月入 前4.15 満潮 前4.20 後6.35 干潮 前11.35 後11.50 (大潮)

日ソ交渉をどうみる
世論調査

抑留者引揚に関心
南樺太も返還を希望

全国民の注目を集めている日ソ交渉はさる六月三日からロンドンの日本大使公邸ならびにソ連大使館を舞台に、話合いが進められているが、交渉はまだほんの序の口で平和条約締結までには幾多の難関が予想され、ことにこんどソ連がどのような出方をするかは、日本国民だけでなく、世界の注視の的となっている。この機会に共同通信社では日ソ交渉問題に焦点を合せて、六月十七、十八、十九の三日間にわたって無作為抽出法にもとづき、満二十歳以上の有権者二千五百名を対象に全国百二十六調査区において世論調査を行った。この調査の特徴的傾向をひろうと、まず日ソ交渉に賛成が圧倒的に多く、この点では鳩山首相の発議は世論の要望にこたえたといってよいようである。さらに解決したい問題の第一には抑留邦人の送還があげられ、松本全権が現地でねばり強くこの問題を主張している世論の背景がはっきり示されている。また領土返還については歯舞、色丹諸島はもとより、千島列島から南樺太まで希望するものが大多数を占めているのは国民感情として当然の帰結であろう。なおこの調査で目についたのは「わからない」の回答が相当多く、ことに婦人老年層にその傾向がつよくみられたことである。

日ソ交渉に賛成ですか反対ですか

	男	女	合計
わからない	18.0%	48.1%	33.6%
反対	3.8%	3.5%	3.7%
賛成	78.2%	48.4%	62.7%

第一問 目下行われている日ソ交渉についてあなたはどう思いますか。

	男(%)	女(%)	計(%)
(イ)交渉に賛成	七八・二	四八・四	六二・七
(ロ)同 反対	三・八	三・五	三・七
(ハ)同 わからない	一八・〇	四八・一	三三・六

第二問 あなたは日本と交渉に乗出したソ連のネライがどこにあると思いますか。

	男	女	計
(イ)世界の平和を維持するため	一四・一	九・三	一一・七
(ロ)戦争の危機を一時緩和させるため	九・八	二・二	五・八
(ハ)日本を米英勢力から切離して中立国とするため	二五・三	一三・四	一九・三
(ニ)日本を共産圏国家に引入れるため	一二・七	六・四	九・四
(ホ)日本の国論を動揺させて政治的経済的安定を乱すため	二・三	一・一	一・六
(ヘ)反米感情をあおって沖縄や小笠原の返還を要求させるため	三・〇	一・八	二・四
(ト)その他	一・一	〇・九	一・一
(チ)わからない	三一・五	六四・九	四八・八

まず懸案を解決せよ

第三問 日ソ話合いの順序として、つぎのどの手順をふんだらよいと思いますか。

	男	女	計
(イ)まず国交を回復してその上に抑留邦人送還、旧日本領土復帰等の諸問題を討議した方がよい	三四・六	一八・八	二六・四
(ロ)諸問題を解決した上で国交を回復した方がよい	四六・〇	三二・四	三八・九
(ハ)わからない	一九・四	四八・八	三四・七

第四問 解決したい次の諸問題のうち、あなたが重要と思われる順に番号をつけて下さい。(第一位の比率だけ列挙)

	男	女	計
(イ)抑留邦人の送還	五七・一	六五・〇	六〇・八
(ロ)旧日本領土の復帰	一五・九	一四・七	一五・三
(ハ)早期終戦宣言	一九・八	一五・五	一七・〇
(ニ)平和条約締結	一一・一	一六・一	一三・四
(ホ)北洋漁業通商問題の正常化	四・〇	一・九	三・一
(ヘ)日本の国連加盟にたいするソ連の支持	二・二	二・二	二・二

第五問 あなたは領土復帰をどこまで希望しますか、希望する部分に○印をつけて下さい。

	男	女	計
(イ)歯舞、色丹諸島	七・一	八・二	七・六
(ロ)千島列島	二九・三	二四・一	二六・八
(ハ)南樺太	六三・六	六七・七	六五・六

日本領土復帰をどこまで希望するか

日米関係に影響せん

第六問 あなたはソ連との国交が回復した場合、日米関係にどんな影響があると思いますか。

	男	女	計
(イ)影響ないと思う	一四・八	五・六	一〇・一
(ロ)影響があると思う	五〇・〇	三九・二	四四・四
(ハ)悪い影響を与えても構わない	四・八	三・四	四・一
(ニ)むしろ日米関係がよくなる	九・六	三・四	六・四
(ホ)その他	〇・七	〇・四	〇・五
(ヘ)わからない	二〇・一	四八・〇	三四・五

調査方法

この調査は満二十歳以上の男女個人に調査員が面接して質問したもので、調査対象となったものは層化多段無作為抽出法により、国民の意見の縮図を正しく描けるように抽出された二千五百名である。調査対象の決め方は、全国市町村を人口の多少、人口密度、住民の産業構成などによって区分し、その特性をまとめ市部では二十八層(グループ)郡部では三十一層を作った。この区分された層から確率比例抽出法によって市部から二十八市、郡部から六十二町村を抽出してこれを調査市町村とし、この調査市町村が代表する層の満二十歳以上の人口数(有権者数)によって調査標本数を割当てた。つぎにこの市町村から国勢調査の調査単位区を抽出決定し、その調査単位区が含まれている部落を調査区とし、かくして一二六調査区が抽出された。回答者の性別、年齢別、職業別、教育程度次の通り。

△性別 男 [illegible] 女 [illegible]
△年令別 二十歳台 三十歳台 四十歳台 五十歳台 六十歳以上 [illegible]
△職業別 農林漁業者 商工経営者 勤労者(事務) 勤労者(労務) その他(公務員、自由業など) 学生 主婦 無職 [illegible]
△教育程度 小学校 中学校、高等学校 専門学校、大学 不詳 [illegible]

欧州外相会議
四巨頭会談に備え国際情勢を検討

【ストラスブール三日発ロイター=共同】欧州会議は巨頭会談を二週間後に控えた四日からフランスのストラスブールで加盟十四ヵ国外相出席のもとに政府代表者会議を開き、国際情勢を検討する。ついで五日から協議会を開き、東西関係についての討議を行うが、六日にはマクミラン英外相が東西関係と先に調印されたオーストリア主権回復について、ピネ仏外相が西欧同盟について、スパーク・ベルギー外相が先にシシリー島メッシナで行われた欧州石炭、鉄鋼共同体の欧州産業組合に関する会議についてそれぞれ演説する。

これと平行し西欧同盟の第一回総会が五日行われ、議長の選出や議事規則の決定などを行う。

【注】欧州会議の協議会は加盟十四ヵ国の議員代表で構成される。また西欧同盟の総会は欧州会議協議会に出席する議員代表のうち加盟七ヵ国の議員代表で構成。

参院本会議 開会遅れる

参院は四日の本会議で「憲法調査会法案」の提案理由の説明を聞いたのち質疑を行う予定であったが同日午前中村衆院議運委員長から郡参院議運委員長に「同法案の審議を六日に延ばして欲しい」と申入れた。参院側では議運でこれを協議したが、自由党を除く各派は党に帰って協議することになったため、同日午前十時開会予定の本会議は遅れた。

米価、五日に決定は困難
根本長官談

根本官房長官は四日午前の記者会見で米価問題について「米価審議会の答申が政府原案とかなりの開きがあるので現在河野、一万田両相の間で検討しているが、五日の閣議で決定するのは困難だと思う。この問題について河野農相から四日の閣僚懇談会は開く予定はない」と語った。

日ソ交渉と憲法調査会解決に努力
首相、議員総会で挨拶

鳩山首相は四日午前開かれた民主党両院議員総会に出席、つぎのようなあいさつを行なった。

保守合同問題で党内が深刻に対立したため一時は内閣総辞職も考えたが、諸君の理解により円満に解決したことは欣快に堪えない。私は日ソ交渉と憲法調査会の二つの大きな問題を是非解決するため今後も努力をつづけたい。

ロ三世、首相を訪問 ジョン・D・ロックフェラー三世は四日午前九時半院内大臣室に鳩山首相を訪問、懇談した。

ミス二題

★…六月二十六日サンタ・クルズ市で行われた「一九五五年ミス・カリフォルニア」コンテストで、ソンヴィル市を代表する二十歳の麗人バーバラ・ジェーン・ハリス嬢が当選した。バーバラさんは身長五フィート六インチ半、体重百二十ポンド、バスト三十六インチ半、ウエスト二十三インチ半、ヒップ三十四インチ半の八頭身美人で現在株式仲買の秘書を勤めている。

★…「一九五五年のミス・ドイツ」の審査が十三日ドイツ西南部のバーデン・バーデンで行われ、二十四歳のマルギット・ニュンケ嬢がみごと栄冠を獲得「ミス・ユニヴァース」コンテストに出場することになった。

【写真(上)はミス・カリフォルニア(下)はミス・ドイツ】

粋人酔筆
振り提灯
渋沢秀雄

たしか昭和のはじめごろだったと思う。ある日Sという友人が突然私の家へたずねてきた。彼は若手の実業家だったが、私同様ノンビリした人種なので、きっと類は友を呼びそうな家へ油を売りにきたのだろう。それまで二人はあまり親しく口を利き合ったことがなかったので、言葉づかいだけは至極テイネイだった。何でも庭の植込に油蝉が暑苦しく鳴きしきり、あたりの空気を変電所の中みたいに振動させている午後だった。

若い者同士の気安さで、二人は旅行先の珍談や失敗話などシャベリ合った。するといつか暗黙のうちに競争意識がおこり、互に相手の上を越すような面白い話を思い出しては披露し出す。つまり話術のジャンケンを繰り返しながら、そのシーソー・ゲームを楽しんでいた次第である。

「諏訪湖へいらしったことおありですか?」

話の切れ目に彼がこう聞いた。

「ええ」私は答えた。「あの湖水っぺりに、イタリア式庭園を配した、立派な本格的洋館があるでしょう?」そうそう。中に大衆浴場などある…。あの建物から出てきた青年に、私がここは何ですかと聞きましたらね、ひどく早口で『五百羅漢』と答えるんです。こんなハイカラな西洋館に五百羅漢はおかしいと思って聞き直したら、それがカタクラ館でした」

「では、諏訪の振り提灯をご存知ですか?」

するとS君はニヤニヤしながら、こう逆襲してきた。そこで私が知らない旨を答えると、彼はこんな話をした。

同じ学校に学んだ縁で片倉家の若旦那と懇意だった彼は、ある夏、その若旦那から四人の旧同窓生といっしょに上諏訪へ招ばれた。東京からの長い汽車をおりて、片倉家へ着くと、若旦那は五人に温泉をすすめたり、浴衣にくつろがせたりの歓待。さて日が暮れるころ、主客六人は大型モーター・ボートで湖上に浮かんだ。ボートの内部にある細長いテーブルを囲んで、若人たちは酒や料理に舌ツヅミの連続。おまけに土地の美形が五人、腕によりをかけたサービスをしてくれる。一座がとめどなくメートルをあげたことは当然である。

暮色せまる湖上の眺めは格別だった。岸には町の灯が、宝石をちりばめている。湖の波をけってバクシンするボートの中は、涼風も浩然の気もほしいままである。その昔八重垣姫が、狐火に導かれて渡った広い湖面を、ボートは縦横無尽に走りまわる。そして時のたつのを忘れた六人に、夜は遠慮なくふけていった。

と、若旦那が立ってこんな意味のことをいった。諸君は五人の美形の中から仲よくそれぞれ相手を選んで、ボートのトモに引いてある五そうの小舟に一組ずつ乗りたまえ。小舟の中には提灯があるから、岸にあがりたくなった人は灯をつけて振りさえすれば、何時たりともモーターボートが迎えにゆく…。おおかた五人は狐につまれたような顔をしながら、ジャンケンかクジ引きで相手をきめたことだろう。

やがてボートは五そうの小舟を湖面にバラまいて、岸へ走り去った。あとは天上の星と暗い波と一対の男女を乗せた捨小舟ばかり。太古さながらの静寂な湖上にS君がどんな夢を結んだか、それをキツモンするほど懇意でなかったことは残念である。S君は戦争前に病死してしまった。

後年、私がこの話をある席上で受け売りしたら、俳句の友人Aが面白がって、「提灯のなかなかつかず明けやすき」というザレ句を吐いた。すると友人Bが、あのほうでタフと評判の友人Cを、「君なら『短夜の提灯振らずじまいかな』だね」と冷やかした。

するとCが「マッチの濡れちゃう場合だってあるよ」と答えたとたん、Aがすかさず、「短夜のマッチをわざとぬらしけり」

そして一座に他愛のない笑声がつづいた。

タイ国外相ら来日

ワン・ワイタヤコン・タイ国外相はサンフランシスコで行われた国連創設記念式典に出席の帰途、四日午前十一時十五分羽田着のPA A機で来日した。また棄国府外交部長も同機で来日した。ワン・ワイタヤコン外相は六日まで滞在するが政府はこの間去る四月締結した同国との特別円処理問題を正式に協定とする話合を行う予定である。

内閣打倒へ大国民運動
右社 首脳会議決定

【箱根発】右派社会党は四日午後一時から箱根で首脳会議を開き、鳩山内閣に対する基本方針など政局対処策について協議した。この会議では鳩山内閣の性格は吉田前内閣同様の反動内閣であるとし、これが打倒のために目下交渉中の両社統一を促進し、鳩山内閣打倒の一大国民運動を展開することをきめる方針である。

◇おことわり 都合により「ジグザグコース」は本日休みます。

ないがい川柳 吉田柿司選

出来たてのゆかたわざわざ街に出る 練馬 飯田光泉

出せるだけ出して手だけに網をかけ 文京 木村いつ秋

鮎の竿肩書を捨ておツ被り 船橋 稲村三久

男女風呂いま観念の眼をつむり 大田 鈴木一正

夏草の中に身を埋め逢う二人 江東 釜谷一輪

ミキサーにこだわる妻のまだ若い 足立 矢吹日進

【賞】盲腸をやってモデルに輝があり 千代田 南波波

内外抄

NHKが共同声明の形で売春放送問題ケリとなる。「面子をば中国よりも大事がり」

◇

衆院文教委がNHKと女優らを喚問しようと。眠気ざましの積りではないだろうな。

◇

労農党、社党とは合同したいが解党して左社入りはいやだそうな。小さいながらの面子ありか。

◇

ソ連がインドを親類扱いで原子力施設の視察を特別に許した。米国へこれ見よがしの手。

◇

山開きとともに早くも山の遭難の報しきり。年少者の独り歩きは山でも危険。

青春無宿 (56)
大林清 作 下高原健二 画

昼の狼 (十)

真弓の呼びかけた名で、次郎にはその男の姓がわかった。光代につきまとっているのが菅野なのは確実だった。

「済みませんが、ちょっと外まで出てくれませんか」

「君は誰かときいているんだがね」

菅野は若い頃のはげしい労働を語る奇怪なほど大きな手を、これ見よがしに次郎の前のカウンターへおいた。印判兼用のいかつい金の指輪が、その中指の根もとに巻きついている。

「僕は宇田という者です」

「名前を聞いたってわからんよ、光代とはどういう関係なのかね」

菅野はコップの水を口に含み、バリッと氷を噛んだ。

「外で話しましょう」

今にも腰が立って来はしないかと、次郎は気が気でなかった。

「外で話す必要はない、用があるならここでいったらよかろう」

菅野は根が生えたように、スタンドの椅子から動かないのだ。

「光代さんに変な真似をするのはやめてもらいたいんです」

こうなっては、次郎も遠まわしないい方はしていられなかった。

光代はただ料亭へつれて行かれただけだと語ったが、ほかへ勤め先を変ろうとするほど、この男を嫌っている点からみて、飲食以外の何かがそこで起ったものと想像された。

「変な真似? 変な真似とは何だね」

菅野は眼を怒らせて次郎をにらみ、

「光代の亭主とか何とかいってるのは君か、もしそうなら、君はわしに礼をいわにゃァならん。ここはわしの店も同然で、光代はわしに使われているのだ。だから昨夜は特に慰労の意味で、料理屋へつれて行ったのだ、それを何の文句があるのかね」

菅野の威丈高な声に、女給たちは何事が起ったのかと眼を向けたが、榎も長椅子から立ちあがって来た。

次郎はあとの言葉をつづけられなくなった。菅野の腕をとって外へ引きだすことは出来るが、それではいよいよことを荒立てる結果になる。

菅野が勝ち誇った顔になった時、階段をあがって来た一人の男が、入口から店内をのぞいた。

「宇田さんはおいでですか?」

汗じみたアンダー・シャツを着た若い男だった。

「宇田は僕だが…」

見知らぬその相手を、次郎は不審の眼で見た。

「ちょっとお願いします」

男はほかの者をはばかるように次郎を眼で招いた。

この場合、その得体の知れない男が現れたことは、次郎にとってむしろ幸いだった。

「今の話はあとでします」

菅野へそういうと、踵をかえした男のあとから、狭い階段を下りて行った。

男は舗道で待っていた。

「わたくしは円タクの運転手なんですが、あなたをお連れするようにたのまれて来ました」

「誰に?」

次郎はいよいよ腑に落ちない。

「光代さんという女の人です」

運転手はそういうと、そこにとめてあったタクシーのドアをひらいた。

市況
堅調を持続

材料難から大証券買も幾分細つて来たので週明け市況は騰勢一服気味だが、地合良化を映して売物薄の折から在外資産株など部分的には買気が続いて諸株おゝむね堅調を持続している。特定株は買戻し一段落の形で閑散のうちにもマバラの売物に押され、きょうから初登場の三菱地所をはじめ軒並一、二円安と気重い。雑株は造船株など先駆株の一部が伸悩みとなったがビール、電力、低位金ヘンの一部には根強い物色買が続いて五円内外高く、また在外資産株が再燃して旧物産、商事は四—七円方買われるなど全般は依然強調含みの場面であった。

▽安い株—常磐炭四十円、平和不四円。

東京株式仲値 新株落△配当落 (4日前場終値)

銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値
特定銘柄		信越化	78	倉レ	94	小西六	117
東海上	256	東高圧	121	旭化成	335	カボン	49
郵船	58	昭電工	80	山陽パ	99	三井物	140
新三菱	86	日本曹	76	日本パ	94	第一物	95
日清紡	266	旭電化	—	国策パ	102	白木屋	255
味の素	274	三菱造	83	東北パ	116	高島屋	81
三越	268	三井造	118	大東紡	95	日活	70
三菱地	488	三菱重	63	商船	45	松竹	198
平和不	180	石川重	93	三井船	48	東宝	—
三井金	110	精工	130	飯野海	45	大映	176
三菱金	84	東洋ベ	112	西武	355	日本粉	128
日鉱	83	日立造	50	藤田興	219	日清粉	157
住友金	—	浦賀	49	東京ガ	65	日本ビ	154
三菱鉱	38	日平	22	東電	453	朝日ビ	176
古河鉱	60	古河電	68	日銀	1920	キリン	196
同和鉱	61	日立製	68	東銀	70	宝酒造	91
住友炭	51	東芝	65	三井銀	69	合糖	224
三井山	52	三菱電	79	富士銀	88	明糖	118
北海炭	48	小松	51	日証金	87	甜菜糖	129
東邦亜	65	日本光	138	安田火	108	野田醤	188
帝石	70	キヤノ	145	大正海	88	森永	283
日石	96	東京光	36	住友海	—	明菓	184
昭和石	98	東洋紡	136	千代田	—	日水産	80
東燃	113	鐘紡	112	鋼管	68	昭和産	90
三菱石	116	富士紡	107	日製鋼	68	東洋醸	70
大協石	112	大日紡	81	八幡鉄	50	合同酒	109
日東化	72	日東紡	58	富士鉄	47	三楽	89
日産化	75	片倉	34	神戸鋼	53	大阪糖	142
三菱化	103	東邦レ	97	日特鋼	118	王子紙	213
三井化	112	帝麻	54	日軽金	177	十条紙	223
協和醗	113	中繊	52	日金工	60	本州紙	86
東合成	115	帝人	129	日セメ	129	三菱紙	86
三共薬	147	東洋レ	175	磐城セ	235	北越紙	57
		三菱レ	117	小野田	79	三井不	795
				横浜ゴ	162	三井倉	74
				旭硝子	143	渋沢倉	78
				富士写	124	東洋埋	—

凄腕の独身美貌興行師

芸能界に話題まく佐伯千代さんの横顔

「女流」大合同の抱負

驚嘆、半年で二百名もマネージ

[illegible]

……佐伯千代さん……

一年で曲芸の舞台

父の死で一躍興行師に

"神女"といわれた故鶴輔師長女

[illegible]

ら意地だとばかり、彼女は涙を流しながら芸を続け、幕が下りた途端楽屋に駆け込み手放しで泣いた…。

二十八年夏、国鉄の慰問に北海道へ旅立つため上野駅に集合したそこで彼女は父の死を知った。引返したかったが"契約"は彼女の自由をも許してくれない。後ろ髪を引かれる思いで彼女は旅立ち父の死顔さえ見られなかった。「それが心残りで」と今でも彼女はくりかえすのである。このことがあってから、母親と弟妹二人を養っていくためにも「女だけに生命の短い曲芸師では駄目だ」と昨年秋から興行師に転向してしまった。

"アベックは痒いもの

結婚も今は考えず"

同性の為に希望は大きい

[illegible]ヤクをはいでしまった。血が流れたのをみて今度は驚いた客が騒ぎ始めた。しかしこうなった[illegible]

―じゃ夜帰るとき暗闇にたゝずんでいるアベックをみても何も感じない？

「それには面白い話しがあるのよ。一昨年の夏、従兄が失恋したので今度はわたしの友達を紹介してやったんだけど、その初会合を上野不忍池でやることになったの私が友だちを連れてって紹介してやったんだけど、一時間二人の話を聞いているうち、わたしは手から足まで蚊に食われてひどい目に合っちゃった。それ以来夏の夜のアベックをみると、お気の毒にと思うだけ」

と語るように総てをこれ仕事に捧げた考え方である。だから未来のことになると、

「女性だけの芸能人クラブといったみたいなのを作りたいの。日本中の女性芸能人を全部集めてクラブを作れば、女性でも精一杯働けるし、芸能人が名誉や虚栄のため貞操を売るというような問題も起らないと思うの。でもどれだけできるか判りませんけど、とにかくその目的のため頑張る積りです」

と希望は大きい。それでも家に帰ると、彼女も本来の女性に戻って和服を着ること、料理、洗濯をすることが好きだとつけ加えることも忘れない。また「それに近所の子供と遊んでも、子供を遊ばせているより、こちらが遊ばせてもらってるみたい。わたしはまだ子供なのかしら」と人の気をそらすスベも知っている。

モダン歳々記

男装作家サンド

一八〇四年七月五日、フランスの男装の閨秀作家ジョルジュ・サンドが生れた。本名はA・デュパンといい、男名のジョルジュをペンネームとした。感情小説「アンジャナ」から社会小説「アンジボの粉屋」田園小説「魔の沼」などその著は百冊に及ぶという。

若いポーランド生れのピアニストであるショパンを燕としたことはかつて述べたが、詩人兼劇作家のアルフレッド・ド・ミュッセとの恋も名高い。一八三四年サンドとミュッセはイタリアに遊び、ヴェネチアでミュッセは熱病にかかったそのときにサンドがあるイタリア人と関係したという事件があり二人の間の愛情は急速に冷めて、ミュッセは彼女を捨てた。捨てられた彼女はミュッセがインポテンツ（不能者）だったといいふらした。ミュッセは腹を立てゝ、この憎むべき情婦のためにあの有名な艶笑本「ガミアニ、別名放蕩の二夜」を書いたのだと伝えている。

「ガミアニ」は二部に分れ、女の同性愛や獣姦を含んだ非道徳的な書であるが、その女主人公はサンドがモデルだと世間はいっている。全く文士の悪口をいうことは怖いことである。（鮭）

新刊紹介

◇粋人随筆（吉田機司）隣春で川柳家の著者は本紙"粋人隧筆"の古くからの執筆同人でもある。川柳家らしい巧まない風刺とユーモア、科学者としての透徹した観察を、軽妙な文章に織りまぜた粋で楽しい随筆は早くから好評を博しているが、本書は"粋人隧筆"らんに四年前から発表されたこれら随筆六十五篇に書下しのもの数篇を加えてまとめてある。紳士のマネジヤー病を予防、治療し淑女の美と若さを保持するための夏向きの好読物。（新書版二四〇頁、一三〇円、緑地社）

二千円という評判におどろいて一回きりでおさらばという次第。これでは成績が下るのは当然、つまり戦後のめちゃくちゃ時代から時の流れは落ついた方向に向いつつあるんだから、時勢にマッチした経営が必要だという教訓がこんなところにもある。（S）

ネオン街

時勢にマッチした経営を望む

西銀座六丁目の"C"キャバレー社長はボーイ長からバレーの支配人になり、さらに重役と昇進したのだが、昨年の重役改選のおり社長に祭り上げられた幸運児チャキチャキの甲州ッ子で、現在八重洲口前の"H"銀座二丁目"M"五反田"K"と同系キャバレーに君臨している。このなかで前記の"C"が高級の部で、はじめのころは振わなかったが、近ごろ優秀なバンドを入れたりで外人客なども入るようになった。しかし高いのが玉にキズという評判一方銀座のバースタイルでは最高級に属する"S"系統には五丁目六丁目、八丁目に店があるが、このマスターは北海道出身で戦後はじめて水商売に入ったそうな。これも出世した人だが何としても"S"系統は高い。チップも最低

艶流世界譚

……（ドイツ）……

日本と同じ敗戦の憂き目を見ただけに、ドイツでも戦後道徳の混乱からいろいろな症状で婦人科医を大ッピラで訪ねる患者が激増して、ちょっとした「婦人科ブーム」を来たしています。その上、元来が医学の国ですから、猫もシャクシも医者のタマゴを目指します。わがゲルハルト君もベルリン大学こそビリで出ましたが、今では曲りなりにも「婦人科医院」の看板をあげ、臨床の腕の悪さはともかく生来の口上手でおぎなって、結構繁昌しております。例えば女中さんタイプの若い娘さんが診察に来ますと、「ああ、あんたは横丁のパン屋の女中さんだね。なに、小僧さんと仲良くなってお腹がふくらむじゃないかね」といった具合に簡単かつ明瞭にさばくので好評です。今日も新婚ホヤホヤの花嫁が真ッ青な顔をして駈けつけ、「先生、ゆうべから下腹の部分が痛くてたまりません」と訴えますと、ゲルハルト君、平然と構えて、「大丈夫。心配なさるな。ちっとばかり初物を食いすぎただけだよ」

……フン、フン、それでお腹がせり出してきた……そりゃそうだろう。考えてもごらん。ホレ、パンダネを入れるとあんな

暇みては結婚を説く

鉄火のうちにほのかな奥様稼業

すっかり堅くなった…「ラク町の大姐御」

[illegible]リと光るお米の目に合うと「あら、こんにちわ」とかしこまる。「うまく行ってるかい」「えゝもうすぐ開店よ」「しっかりやりなよ」江戸川さんも近く足を洗って商売を始めるのだという。「飲屋でも」と聞いたら「とんでもない、ワタシタチャ足を洗えば丸っきりの堅気さ、酒気一切抜きの軽飲食さ」ときた。

○…大阪生れ、十六歳のときなんとなくズベ公の仲間に入り、なんとなく姐御と立てられたというが「やっぱり女は結婚しなけりゃあかん」という。「女独りで生きるには世間に対して技巧がいるんだよ。だけど結婚すりゃ、技巧もなんにもいらへん、寝るときも起きるときもみんな自分のものなんだよ」全盛時代、七百人からいたラク町の夜の女も、いまは二百人になった。このうち更生したのはごくわずかだそうだ。「だからアタシは暇があればラク町へ出かけ、結婚しなさいと説いて回るさ、結婚出来るのも若いうちだけさ」そばから江戸川さんが「姐さんの旦那さんはいいんだもの」「チェッ、余計なことというんじゃないよ…」とはいったものの「まあそうだね、ハッハッハッ」男嫌いで通したお米も、本気になってようやく男の味が分ったらしい。（A）【写真は自ら更生の弁をぶつ佐藤さん】

噂も七十五日 ⑥

佐藤米子さん

[illegible]

あすの運勢

高島象山

＝七月五日＝

▲一月生―自己を反省し大局に目標を求め自然的に努力して後に吉

▲二月生―気苦労多く不安あり内外共に間違い事起り易い注意肝要

▲三月生―人気や噂に乗ると失敗あり堅実に稼業を守れば無事なり

▲四月生―心静かに自然の成り行きに任せ慎重に進退すれば無事也

▲五月生―気迷い心動き奸人の好餌となり迷惑災害を招き易い注意

▲六月生―何事も思いが相反し相違し易いので短気を起し失敗あり

▲七月生―何事も保守的に稼業に精励して利達あり商取引円満なり

▲八月生―何事も成否極端に流れ失態を生じ易い交際外交には不利

▲九月生―一躍進展の義ありて物事自由に向上あり開業改革結婚吉

▲十月生―他意なく自信あることを努力するによろし旅行はよろし

▲十一月生―何事も性急短慮にして事破る心静かに時機を待つべし

▲十二月生―運気順調にして栄達あるも僥倖的の態度は失敗を招く

浪人街道（207）

木村荘十
野口昂明画

天守閣（四）

中川宗範は老人と侮って、伊織を追いつめて見たものの、身動きが出来なかった。

体力こそないが、伊織の剣気の鋭さ。打込めば外され、退けば斬られることは分っている。

彼の血に染った額には冷たい脂汗が滲んで来た。

「宗範、今更一人や二人を斬ったとて、到底のがれる身ではない。貴様も武士、悪あがきをせずに、潔く自決致せ」

「なにを老ぼれが、こうなれば、男の意地、貴様も領主も地獄行の道連れにしてくれる」

「馬鹿者ッ」

伊織の剣が一閃すると見えたが、もうぴたりと元の青眼にかえっていた。

が、宗範の頬から口へかけて、新たな血潮がたらたらと流れ出した。宗範は逆上した。

白刃と共に伊織にぶつかっていった。伊織は横っ飛びに柱の陰へ身をかくす。宗範の部下はそれを見ると、右、左から伊織に襲いかかった。

宗範は、それを見ると伊織を一味の若者に任せて、大刀を杖に、天守閣の階段を登り始めた。

だが意外、その階段の上では佐吉と美代吉、鉄之助が先に立って、侍女達と共に道具を積みあげて、上り口を塞いでいた。

佐吉が、館に残って美代吉、鉄之助の監禁されているのを救い出し、例の空井戸や、大太鼓のぬける地下の坂道を美代吉に聞いて、本丸に通じる道を発見したのである。

宗範は、それを見ると歯がみをしてそれを取りのけようとした。

階段の途中に積みあげた道具類は雪崩をうって落ちかかり、それを崩す宗範までも落とそうとする。

宗範は、血達磨のようになって一味を呼ぶ。伊織や、浪人組は、天守閣に敵を近づけまいとする。城中、今は、まったくの乱戦になってしまった。

その頃、将門に扮装していた啓之助は、修理を追って死闘を続けていた。修理もまた宗範と同様に事が破れたと見ると、斬死を覚悟したらしく、悪鬼の様に暴れ回った。従う家臣も、到底助からぬ命と思ったのであろう。

浪人組も加勢の鍾馗の身内の者も危うく見えるほどの奮戦だった。

修理は、鉄砲組の寝返りを知ると、本丸と濠を距てた西丸に拠ろうとした。

啓之助は、何処までも逃さじと修理の後を追い、奥方の御寝所間近の奥庭まで来たが、不意に修理の姿を見失った。

探し廻った啓之助は、ふと、傍の井戸に気がついた。美代吉が見つけたのと同じ空井戸なのである。

「しまった」

啓之助はあせった。伊織の話では城内の地下には、万一のとき城を囲まれても抜け出せるように地下道があると説明されたが、修理もそれを知っていたに違いない。

危険は分っていたが逃がせなかった。啓之助は、大胆にもその空井戸に降りていったが、

「あっ」

啓之助の足が井戸の底につくかと見えた時、不意にその横から白刃が突き出された。

ラジオとテレビ　4日（月）

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶子供のシンブン❷岬の少年たち 桑山正一他 25 物語「オテナの塔」	05 英語会話◇今日の市況 30 三球受信機の組立 40 科学クイズ朝比奈貞一	10 東西こぼれ話 小金治 15 スイート・コンサート 25 バイバイゲーム（関）	00 劇「少年宮本武蔵」 10 劇「すずらん太郎」 25 久保田敏夫とラツキー	00 劇「ポツポちゃん」 20 劇「少年探偵団」 35 歌謡百貨店 津村謙他
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 三つの歌 司会 宮田アナ	00 20世紀の音楽「シンフオニア・ダ・リクイエム」 30 対談と音楽「欧米の青年たちと音楽」	10 録音ニュース 25 文学サロン「牛肉」 30 四つの明星 二葉あき子 三浦洸一 野沢一馬	00 録音ニュース 10 ハリージエームス楽団 20 ものまねコンクール 市村俊幸 永井孝男ほか	00 ラジオ夕刊（耳の新聞） 20 花のステージ 30 ❶スイングコント 人見明❷落語「蟇の油」馬生
8	00 お父さんはお人好し アチヤコ 浪花千栄子他 30 浪花節「春日の局」京山華千代	05 きょうの国会から 20 鼎談「子供の科学性を育てるために」大久保忠利 田中実 国分一太郎	00 劇「金庫にさわるな」森雅之 北村和夫ほか 30 タレント・スカウト 司会・芥川アナ	00 六大学春の音楽リーグ戦「東立戦」歌・水島他 30 劇「雪之丞変化」市川中車 岩井半四郎ほか	00 ハロー・ハロー・クイズ 司会 テデイ・中村 30 大学勝抜歌合戦 司会 石田一松 山内謙一
9	05 ニュース解説 村田 15 街録「今度の米価をどう思いますか」 40 春子の手帳 メイコ他	00 劇「馬子にも衣裳」小山源喜 加藤道子 山田消 山内雅人 黒沢良 八木光雄 川久保潔ほか	10 銭形平次捕物控「娘の耳」滝沢修 渡辺篤ほか 35 ❶漫才 いとし・こいし❷落語 昔々亭桃太郎	00 何処へでも「タクシーの運転手」吉野定二ほか 30 浪曲名婦伝「薄倖の文豪・樋口一葉」富士千代	00 僕等が歌を唱い終つた時 河井坊茶 市村俊幸 30 歌の二人三脚 佐伯徹 宮崎恭子
10	15 新家庭読本「共遊び・歌の巻」 40 風流歌草紙 蓼湖津留	00 ❶初級英語 小野嘉寿男❷上級国語 増淵恒吉 45 気象通報	05 きょうのニュースから 15 連続劇「紅梅振袖」 30 提琴協奏曲ホ短調	00 大学受験夏季実力講座 英文和訳 岩田一男 30 解析（1）田島一郎	00 劇「南無三宝」本郷秀雄 15 馬子唄入りの三人旅 35 劇「緋牡丹記」轟ほか
11	20 随筆「あじさいの垣」内田亨作	20 乳歯齲蝕予防の意義 岡本清綏	10 科学の眼「指紋」松本彊 岡田鎮 稲川アナ	00 青空会議「刑を終えた人々に聞く」◇ニュース	00 スポーツ・カレンダー 15 夏の風俗浦松佐美太郎

テレビ

★NHK★ ◆6・00 仲よしニュース◆6・30「夏山を征く」槇有恒ほか◆7・10 海外週間ニュース◆7・30 コンサート・ホール◆8・00 映画サロン「続宮本武蔵」◆8・30 劇「やがて蒼空」南条秋子 滝田裕介ほか

★NTV★ ◆6・00 紙芝居「日輪童子」◆6・15 江藤玲子のピアノ独奏◆6・30 コメデイ「二人でお茶を」千葉信男ほか◆7・30 浅草松竹演芸場から中継❶歌謡シヨウ 中島日出子他❷五一郎劇団「町の親子はいつ帰る」

★KR★ ◆6・00 シンドバッドの冒険◆6・20 映画「警察日記」◆7・00 映画「太陽・アマゾン」◆8・45 ルポ「富士山ろく」◆9・00 TVニュース◆9・10 スポーツパレード◆9・45 テレビルポ

あすの番組

★NHK第1★	★NHK第2★	★ラジオ東京★	★日本文化★	★ニッポン★
7・45 朝の訪問 野村実	7・30 仏文学入門伊吹武彦	8・20 ラジオ・スケッチ	8・25 おしやべりレデイ	7・35 放送論壇 細川隆之
8・05 名演奏家の時間	8・00 療養者と夏の衛生	9・45 料理を楽しむ老婦人	9・30 劇「青春のある所」	8・10 お早ようブーちゃん
8・30 夏の味 野間仁根	9・00 きょうの学校放送	10・10 名作「山椒太夫」	10・40 劇「君ひとすじに」	9・00 劇「サザエさん」
10・05 けさの話題松宮克也	10・15 楽しい音楽赤松次郎	11・35 音楽のスーツケース	11・35 連続劇「東京の人」	10・00 やりくりチヨ子さん
10・15 若い人達石坂洋次郎	11・30 人間の寿命杉靖三郎	12・15 末弘ゆきとリトル	12・15 昼の演芸◇歌の花束	11・00 連続劇「悦ちゃん」
11・15 朗読「足摺岬」	11・45 水害国ニツポン	1・30 わが家の家族会議	1・15 落語随想 金馬	0・00 警察日記 洋容ほか

続 情炎の千代田城 (167)

岩崎栄
寺本忠雄画

闘争(七)

弁説もスッキリと筋だ立ち、論理も平明によくわかる。

「それ故に、お貼紙値段と申すものの、決して私主人近江守一存にてこれを左右致すわけのものにはございませぬ。すべては自然の相場の何ヵ年かの平均として弾じき出されるものにございまして、このために、公儀の御財政にも狂いを与えず、札差しども米屋渡世のものにも、大きな利得や損失を与えませず、また旗本衆の生計にも上下の甚しい変動を見せませぬようにとの念願から、てまえ主人もいろいろに肝胆を砕き居るしだいにございます。しかるに、世間の人情は澆薄、自分勝手が通例とは申しながら、時価を上回るお貼出しの場合は何ごとも申さずにすましますが、時価が騰貴し過ぎて居りますせつは、徒らにお貼紙値段が低くすぎる。不都合だ。勘定奉行は不正を致し居るのだなどと評判致すのでございます。このたび、上様の御注意をいただきながら、二度も貼り出し値段を書き損じましたこと—これはもう、何と申しましても、主人近江の責任重大、重々不都合の手落ちにございまするが、さりながら、貼紙はいかに間違ったに致せ、奉行所の帳簿—台帳と申す元帳には、チャンと正当の値段を記入に相成り居るしだいにございます故、商人どもにもまた旗本衆にも、払い渡しのせつは、その台帳によりまして算用仕るものにございます。勿論、主人儀、おそれおおくも上様のお叱りを頂きまするが如き過失は、何とも恐縮千万のことにございまするが、されぱとて、主人に非曲あるかの如きおとがめ、主人は悲痛のうちにもただ沈黙致し居りますなれど、私、家来として聞くに忍びず、見るに堪えず……武士たるものが、余事は知らず、金銭、物価のことにて、その潔白を疑われまする無念、心外！」

バタリと両手を畳に、うつ伏せた半六の、かたちのいい横顔に、パラパラと乱れた幾筋かのおくれ毛が、ピリ、ピリ、慄るえているのを、絵島は名優の演技でも見るように、うっとりした眼瞳に眺めつづけていた。

両手をつかえたまゝに、半六がキッと面を起し、斜に見上げるかたちで、

「もし！ お縋り申します」

じっと見つめる切れ長の眼から一筋、ツウーッと光る涙が落ちた。その半六の表情を、絵島もまた、瞬きもせず見据えている。

「もともと、大奥から火をつけられましたこのたびの問題にございますれば、この火の元を消していただくお方は、おそれながら、あなたさま以外に、どなたがございましょう。せつに、せつに、おなさけをいたゞきたく、そのためには不肖私ごときの一命、露ほどにも厭いは致しませぬ。なにとぞ、ひとえにお縋り申上げます」

そのまゝガクリとうつ伏せてしまった。そのうなじから背すじまで、男の肉の光るようなきれいな頸すじだった。

絵島はやがて、軽く咳を切って

「わかりました」

と頷いた。

「は、有難く存じ上げます」

「よくわかりましたが、ただいまあなたさまの御陳情、それを書きつけて、訴状のかたちをとり、後日、奥山殿お手もとまで差し出して頂けませぬか」

「は、はい、有難きおことば。速書きしたためまして差し出します。なにとぞよしなにお取りはからいお願い申上げます」

「出来るか出来ぬかは——お[illegible]致しかねますが、ともかく考[illegible]みます故」

半六は黙って額をたたみにすりつけた。

お盆興行 花々しい洋画合戦

奪い合う"戦略空軍命令" 東劇、スカラ座で同時上映

お盆興行といえば正月興行につぐ映画界のかき入れ時だが、今年は東京宝塚劇場の四階にスカラ座が誕生するところから、はしなくも松竹、東宝の間にパラマウント映画「戦略空軍命令」の上映獲得戦が演じられ、その結果ついに東京劇場とスカラ座で同じ作品を同時に上映するというロードショウ劇場としては珍らしい事態を巻き起した。

問題の作品「戦略空軍命令」はジェイムス・スチュアートとジューン・アリスンの名コンビによる夫婦愛物語で、しかもパラマウントご自慢のヴィスタビジョンによる航空映画とあって、昨秋から松竹がその上映を目論み殆んど内定といわれていたものである。ところが今年になって東宝がスカラ座のこけら落しに予定していたパラマウント作品「追われる男」がどうも気にいらない。そこでパ社に対して是非ともスカラ座のこけら落しを「戦略空軍命令」で行いたいと申入れた。勿論パ社としては松竹とは正式契約をしたわけではないので、東宝にやれないという理由が一つもない。そこで何となく承諾するようなしないような態度に出ていたのだが、この噂が松竹の耳に入ったので松竹はまさに寝耳に水の驚き方であった。

ところがその争奪戦の最中、突然東宝は「戦略空軍命令」から手を引きますと手のひらをかえすような申し入れを行った。再び驚いたのが松竹とパ社で、さては裏に何か条件があるなと思ったというが、案の定折りかえし東宝からは「戦略…」の代りにセシル・B・デミル監督の「十誡」を頂戴したいと申入れた。この「十誡」はデミル監督最新作の超々スペクタクル作品で、これをさらわれたら「戦略空軍命令」を取られることなど問題にならぬほどの黒星だとあって松竹も真剣になった。そこで東宝は再び妥協案として「"十誡"の交渉が時期尚早というのであればこれは引込めよう。その代り"戦略"は競映と いうことで 手を打ちたい」という切札を持込んだわけだ。こうなってはパ社としても斡旋してまで松竹、東宝間をまとめるより手がないということになり、結局東宝の作戦に松竹が見事にひっかゝった形におちついた。これで漁夫の利を占めたのは両社と契約を結んだパ社ということになり、配給歩率も六十%(従来の天然色作品でも五十五%)という有利な商売となったのである。

さてこのようにお盆興行ともなれば各社とも必死となって観客動員に血道を あげるわけだが、この「戦略…」に対抗して丸ノ内東宝はマルティーヌ・キャロルのお色気がうりものの「寝室の秘密」、ピカデリー劇場にはキャロル・リード監督の佳作「文なし横丁の人々」丸ノ内日活はイタリア記録映画「青い大陸」日比谷映劇はデ・シーカとジーナ・ロロブリジーダの「パンと恋と夢」有楽座はヴィクター・マチュアの犯罪活劇「恐怖の土曜日」と揃えて今年の洋画は珍らしく活況を呈したお盆興行となりそうである。

テレビもロケ進出

KRの『日真名氏飛出す』

【写真はその葉山ロケ風景。左端が中田康子】

○…映画のロケーションにしてはちょいとばかりお淋しいとの撮影風景—。それもそのはず、このほどKRが手を染め出したテレビドラマのロケ風景がこれ。ちゃちなセットでお茶をにごす時代はもう過ぎたと、毎週土曜日九時十分からのサスペンス・ドラマ「日真名氏飛出す」は、すべて映画な[illegible]狙って大いに野[illegible]しているが、まずその手はじめに斯くはロケーション敢行とは相成ったもの。

○…すでに永代橋を背景にしたり、神宮プールでは出演者を背広姿のまゝザンブと飛び込ませたりして時ならぬ人垣をつくらせているが、三十日には葉山海岸にまで進出ということになった。

○…暑さは暑し、海にも飛び込めるしと、総員四十名のロケ隊はすっかり大喜び、ことに銀行ギャングの情婦に扮する中田康子の水着姿もたんのうできるとあっては、同行のオノコ共は小学生の遠足なみのはしゃぎよう。ところがスタジオで肌脱ぎになるのとは勝手が違う劇団員達はすっかり恥ずかしがってしまって、プロデューサーは彼女たちを狩出すのには汗だくの態だったとか。いずれにせよKRでは「テレビ・ドラマの中に映画的なショットを数多く使えば、きっと良いものができますよ」と自画自讃に大童である。

ニューヨークでくつろぐ山口淑子

「まあ素敵、こんなところにいると飛んで帰りたくなっちゃうわ」ニューヨークの近代美術館の中にある日本家屋と庭園を眺めながら、リーさん山口淑子はすっかりご満悦の態です。彼女は例の日本ロケ映画「竹の家」の封切あいさつのため、このところ全米各地を飛び歩いていましたが、その仕事もようやく片づき、十五日ごろ木村三津子とともに帰日する予定です。(UP=サン)

おしゃべり横丁 話合い

喋べることならこっちがウワテさ。—NHK

田辺南遊独演会 九日六時、本牧亭「消えた三万円」ほか。

八志摩亀生、鈴村一郎と改名 マーキュリー専属歌手八志摩亀生は芸名を鈴村一郎に改名した。八志摩は昨年テイチクからマーキュリー入社と共に八志摩に改名したがこのほど旧名に戻ったものである。

消息 宮城まり子事務所の電話番号は次の通り変更、築地(55)一四九番、八六四九番。なお更に二十二日からはこれが東銀座(54)一四六番、一四七番となる。

都々逸 石井きんざ選

どうにか口説いてつれては来たが 旅館の手すりですねている　国分寺・佐藤千恵子

費方の社用は安心出来ぬ えりにのこした紅のあと　足立・うさぎ

待っている子を忘れて踊る つらいダンサーの乳が張り　中野・相崎六竜坊

汽車で来い来いお前も無事も 待ちくたびれてる結び神　世田谷・森山阿呆奴

【賞】おかめなりゃこそ安心してる 美人殺しの恐い記事　練馬・飯田光泉

◇

知恵を付けてる誰かがあって だんだん手強くなる娘　選者

はと笛

▽…日劇「テイチク夏祭り」出演中の国友昭二が某日某所へちょいとした清遊? に赴いたところ、相手の女性が大変な歌謡曲ファンだったまではいゝとして、彼を真木不二夫と間違えて何か歌ってくれとしきりにネダった。

▽…困った国友「きょうはちょっとノドを痛めているから…」とかなんとかいってゴマ化したが、翌朝彼女がどうしても日劇へ花束を持って行くといってきかない。いよいよ窮した国友、その店のマダムに相談したところ「いゝんですヨ、あの子は眼が近いのでしょう、中人間違いするんですから…」にいゝ気持ちで真木になり済ましていた彼ギャフン。

【写真は国友昭二】

ボクの下積時代 ⑰

杉江敏男の巻

煙突男を煙にまく 助監十三年の「サンペイ」氏放れ業

杉江監督

東宝がPCLといっていた昭和十二年、つまり蘆溝橋でドンドンパリバリとおっぱじまった年に彼は映画界に入った。世論はともかく、まだまだこの世界では自由思想が巾をきかせていた時代だ。殊にPCLには新形式の映画を製作する成瀬巳喜男、豊田四郎、山本嘉次郎などの巨匠連が張り切っていたから余計それがみなぎっていたようだ。つまり杉江青年は恵まれた条件と雰囲気のなかに下積時代の第一歩を踏み出したということになる。

もっとも その頃の チーフ・クラスには今井正、黒沢明、谷口千吉などというそうそうたるメンバーがいたし、一年先輩には関川秀雄、藤原杉雄など将来の大器がワンサとひかえていた。従ってよほど変った行動か目立つことでもしないことには、これら先輩に互して認められるチャンスはないといってもよかったのである。ところが杉江青年たるや性格は温順、寡黙ときては全然地味な存在だった。だから彼はついに助監督生活を丸十三年七ヵ月やってしまったのだが、その間の二度だけは「東宝に杉江あり」を天下に知らせたことがあった。

その一は東宝争議の際の話だがとにかく組合と会社側がスッタモンダしたあげく演出部から一人の男が撮影所の大煙突に登って降りてこないという映画界の「エントツ男事件」があった。この青年、下からは何といっても知らん顔で、これにはすっかり困ったのが組合側で、入れ代り立ちかわり煙突に登っては彼を口説いたのだがいっかないうことをきこうとしない。そしてついにこのお役目が杉江青年に回ってきたのである。大体彼はあまり高いところが好きではない。しかし何といってもやらにゃあならぬ。兄貴分から尻を叩かれて意を決した彼は、やおら登り始めたのである。何しろ五十米の煙突なんてものは商売人でもあまり気持のよいものじゃない。ところが彼が登って二言、三言話をすると、くだんの煙突男すぐ降り出したから不思議な話だった。後で彼はこういった。「何でもないよ。馬鹿と煙は高い処に上りたがるというぜ。俺と交替しようじゃないか、といっただけさ」だと…。もちろんこれで彼はすっかり名前を売ってしまった。なかなか小才のきく奴だと認められたのである。

さて もう一つの話だが彼は飲みに行くと必ず食うのが「三平汁」で春夏秋冬きっとこれをやるというところから、いつか「三平」という愛称までついた。そこでこの「サンペイ」が有名になってしまったのだが、彼のことをいまだに「杉江サンペイ」と呼ぶ者が多い。といってこれらの話を杉江監督は決して自分の口からしゃべろうとはしない。つまり「僕の話は下積みの苦労話ではなく、いかに無能だったかを知られるようなもんですからね」というわけだが、やはり煙と一緒に高いところには登りたくない口なのだろう。